

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年3月18日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：10件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	集中環境施設への廃棄物処理系床ドレン移送配管用テスト弁の点検において、上流側配管接続部に水のリークの痕跡が認められたため、当該部を点検・修理	D	
2	2号機	復水脱塩装置用脱塩塔入口流量積算計（4台）の積算値表示用数字が消えており、判読困難なため、当該積算計を交換	D	
3	4号機	原子炉補機冷却系熱交換器（B）用チューブの渦流探傷検査において、判定基準値外れのチューブ（6本）が認められたため、当該チューブを交換	D	
4	4号機	タービン補機冷却系熱交換器（A）用チューブの渦流探傷検査において、閉止栓施工推奨チューブ（12本）が認められたため、閉止栓を取付	D	
5	5号機	常設物品等に表示不良（常設表示無し：3点及び常設表示のある仮置き物品：1点）が認められたため、表示を修正及び対応検討（保安検査官気づき事項）	C	
6	6号機	廃棄物処理装置用加熱蒸気戻り系配管に設置されているドレントラップの入口弁又は出口弁、もしくは両方の弁にシートリークの可能性が認められたため、当該弁を点検・修理	D	
7	6号機	直流24V充電器盤（A）の電圧計切替スイッチに接点動作不良が認められたため、当該充電器盤を点検・修理	D	
8	集中環境施設	放射性廃液減容処理設備再生廃液濃縮装置（B）用加熱器の点検において、チューブ（1本）に水のにじみが認められたため、当該チューブに閉止栓を取付	D	
9	その他	水処理設備用温水ポンプ（B）の点検において、シャフトにねじ込まれている羽根車が取外し不可のため、当該シャフト及びインペラを交換	D	
10	その他	承認済みの委託業務計画実施承認書の承認権限者に誤りがあったため、対応検討	C	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画外の原子炉停止 ・ 発電所外への放射性物質の漏えい ・ 非常用炉心冷却系の作動 ・ 火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・ 原子炉への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・ 原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・ 原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・ 圧力抑制室等への異物の混入 ・ 原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常小修理 など

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで